



佐々木 恵美子 議員

一問一答方式

市外医療機関利用 負担についての見解は

市長：…金銭的、肉体的、精神的負担が大きいと理解している

問……………

高齢者本人や家族が市外医療機関を利用する際の負担についての見解は。

問……………

青森県では県の官舎を患者本人や家族のための宿泊として活用している事例がある。

答(市長)……………

市内の高齢率39.4%であり、遠方での受診は、交通手段や金銭的な不安、精神面などでも高齢者に限らず負担も大きいと理解している。

答(市長)……………

青森県の事例は承知している。交通弱者、通院弱者の方々へどのように向き合うかは、検討課題として捉えたい。

問……………

産院がない、市内妊産婦の出産リスクについての見解は。

答(市長)……………

助産院ねっと・ゆりかごの助産師による健康相談、助言など出産サポートをしている。妊婦検診の交通費の助成で経済的な負担軽減を図ってきた。また、救急隊員全員が「新生児心肺蘇生資格」の取得で対応スキルアップに努めている。救急車に携帯型の分娩監視装置の設置も検討している。

問……………

出産直前に、産院近くに宿泊する際に対して、費用助成している自治体があるが。

答(市長)……………

多くの妊産婦は、リラックスした環境の中

で過ごしたいという報告もあることから、ベターな仕組みづくりに取り組んでいく。

問……………

市の単独事業だけでなく、広域市町村、関連機関で連携して仕組みづくりを求めたい。

答(市長)……………

妊産婦の方が、安心して向き合うためには、新たな一つの仕組みも作っていかねばならない。選択肢の一つとして、考えなければならぬ課題と捉える。



患者・家族向け宿泊施設ファミリールームあおもり

地域交通の構築を早急に求めたい 市長…どのようにしていくか、作業を加速していく

問……………

地域住民による地域交通の確立の進捗状況は。

答(市長)……………

いくつかの地区が検討をすすめる、移動販売車の誘致、買い物代行事業、健診タクシーの運行、買い物バスの試験運行など、取り組みを模索している。引き続き支援をしていきたい。

問……………

地域住民、交通事業者、学校、福祉、関係団体が総参画し、連携した交通体系の構築が必要では。

答(市長)……………

路線確保だけでなく、生活交通の確保をどのようにするかという点について、作業を加速させていく。



多田 勉 議員

一問一答方式

鱒沢地区センター整備の進捗状況は

市長：…定住人口の確保も含め総合的検討を進める

問……………

平成31年度に土地買収し、現在は更地の状況から進んでいないが、鱒沢地区に対する認識をどう捉え、今までの地区協議による合意形成をどう受け止めているのか伺いたい。

答(市長)……………

鱒沢地区センターを平成28年度に設置し、「鱒沢地区センター整備検討委員会」からの提言書が提出された。

平成29年度から整備事業に着手し、9月に用地取得が完了、現在新築設計業務を進める段階にある。また、敷地全体の活用で定住人口の確保機能など総合的に検討しており、「小さな拠点による地域づくり」の視点から、鱒沢地域と密着した体制をとる認識で考えている。これからも住民に相談し、これまでと今後のプロセスを大事にして進めていく。



早い整備が望まれる鱒沢地区センター建設予定地

計画見直しに(仮称)遠野市農業指導センター設置を

市長…既存事業検証で課題解決に取り組む

問……………

農林水産振興ビジョンの見直しが必要と考えるが、計画見直しには的確な現状把握が必要であり、農家と向き

答(市長)……………

5年後を見据え、農家所得向上を図るため各事業に取り組んでいる。次期農林水産振興ビジョン策定に向け、令和2年度に既存事業を検証し、現状にあった計画にしていく。職員相互の情報共有で課題解決に取り組んでいる。ワンストップで対応できる組織の立ち上げも大きな課題であり、検討を進めている。